

患者支援センター年報

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から「5類感染症」になったが、感染力には変わりがないこともあり、院内では面会の人数や時間の制限が続いた。

地域連携部門においては、引き続き患者と家族、医療従事者と家族の橋渡しとなるよう支援に重点を置いた。入院センターにおいては、24診療科を対象に、入院療養や退院支援につなげる情報を収集し、薬剤師、事務職員、看護師等の多職種が連携しながら患者が安心できる安全な入院環境の準備に貢献するとともに、早期からの退院支援や、患者、家族の不安の軽減にも努めることができた。患者相談窓口では、患者に寄り添える窓口として活動し、困難事例については、医療安全推進部、医事課の協力を得ながら対応することができた。病床管理部門では、病床利用率の低下が続いたため、共通床や空床の使用を促進しながら適切な入院期間を維持し、病床利用率を上げるよう奔走した1年であった。

院外の医療者と連携した会議や研修の開催、市民を対象としたイベント参加等はコロナ前に戻りつつあった。院外の医療者とは、対面、Web会議システムの両方を活用しながら交流し、連携を深めることができた1年でもあった。

業務内容

1. 地域連携部門

- 1) 退院支援・転院支援
- 2) 在宅療養支援
- 3) 医療福祉相談
- 4) 地域連携パス
- 5) がん相談支援
- 6) その他、相談支援
- 7) 地域（医療機関を含む）からの連絡調整
- 8) 紹介元医療機関への結果報告・情報提供の管理
- 9) 連携登録医関係
- 10) 返書管理
- 11) その他

2. 病床管理部門

- 1) 病床案内
- 2) 入院決定患者への連絡
- 3) データ管理による病院経営への参画

3. 予約センター

- 1) 患者の診療予約取得に関すること
- 2) 受診報告書の管理

4. 入院センター(平成30年1月開設)

- 1) 患者基本情報の聴取
- 2) 退院支援の必要性の評価
- 3) 認知機能評価（DASC/MMSE 評価）
- 4) 入院前リスク評価

業務実績

【地域連携部門】

1. 退院支援・転院支援

1) 入退院支援加算の算定件数

令和5年度

	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	総計
入退院支援加算1	297	273	282	307	298	308	317	318	342	291	290	287	3,610
入退院支援加算2													0
入退院支援加算3	8	6	10	9	5	5	10	1	6	2	4	2	68
入院時支援加算2	57	55	74	69	43	63	70	71	78	50	74	62	766
総計(入院時支援加算2除く)	305	279	292	316	303	313	327	319	348	293	294	289	3,678

令和4年度

	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	総計
入退院支援加算1	316	279	344	285	284	289	298	318	343	263	305	357	3,681
入退院支援加算2													0
入退院支援加算3	5	10	8	11	8	8	4	5	10	5	9	16	99
入院時支援加算2	73	57	84	58	76	66	67	73	75	68	71	94	862
総計(入院時支援加算2除く)	321	289	352	296	292	297	302	323	353	268	314	373	3,780

2) 介護支援等連携指導料

令和5年度

	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	合計
介護支援連携指導料	5	8	12	16	18	4	13	8	19	7	9	10	129
多機関共同指導加算	2	1	0	1	0	0	1	1	4	1	0	1	12

令和4年度

	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	合計
介護支援連携指導料	14	11	16	14	6	9	9	11	9	8	4	10	121
多機関共同指導加算	3	5	6	3	3	4	3	1	1	3	1	5	38

2. 医療福祉相談

1) 相談件数（※患者相談窓口対応件数含む）

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		内がん患者		内がん患者		内がん患者
新規件数	15,764	4,266	17,431	4,795	18,198	4,794
延べ件数	25,756	6,736	30,264	8,171	29,446	7,602

2) 相談内容

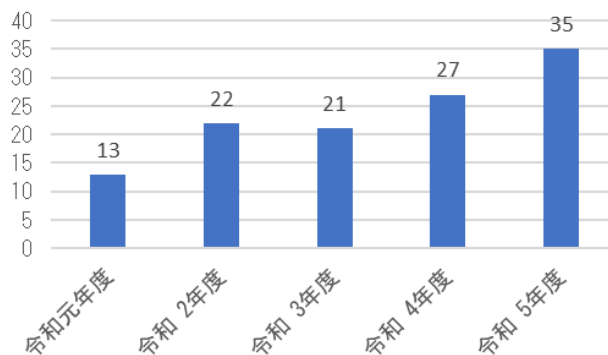
		新規 (内がん患者)		総件数 (内がん患者)		総相談の 平均相談時間 (分)
退院支援	退院支援困難者の抽出	4,754	1,325	5,263	1,410	10.1
	退院支援	447	172	1,291	588	22.7
	転院支援	2,108	355	7,240	1,183	16.3
在宅医療	在宅医療	1,322	195	2,629	415	10.0
	オーバーナイトベッド	118	17	120	17	38.1
	医療機関の紹介	95	32	133	46	11.9
地域との 連携	連絡調整・問い合わせ	5,311	1,291	7,360	1,878	12.1
	がん地域連携パス	34	33	35	34	18.4
	他院の予約	1,801	419	2,206	571	12.3
医療・福祉・ 療養上の 相談	受診方法・入院	205	57	224	65	14.9
	医療相談	132	83	161	95	18.5
	医療費・生活費・制度	913	377	1,260	530	13.6
	介護・看護・教育	368	162	559	268	13.1
	社会生活(仕事・就労・学業)	25	13	38	23	17.6
	療養上の相談	161	81	208	106	18.7
	コミュニケーション	121	52	154	65	19.9
セカンド	患者会・家族会(ピア情報)	5	4	6	5	10.8
	院内受付	71	48	178	117	25.3
	他院紹介	81	54	226	158	13.3
その他	一般	18	11	23	15	22.0
		108	13	132	13	15.2
計		18,198	4,794	29,446	7,602	13.5

3. 地域連携パス

1) 乳がんパス (件)

令和元年度	13
令和2年度	22
令和3年度	21
令和4年度	27
令和5年度	35

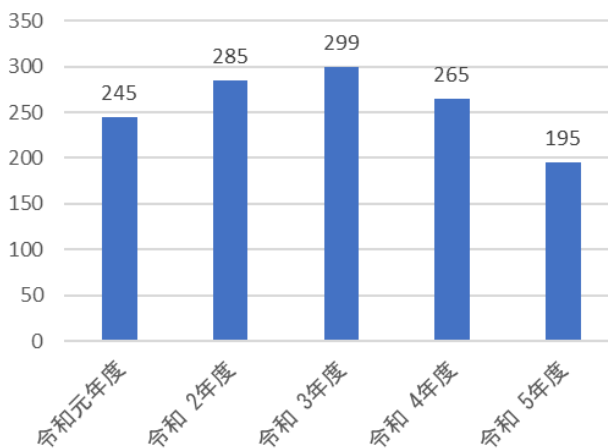
乳がんパス



2) 脳卒中パス (件)

令和元年度	245
令和2年度	285
令和3年度	299
令和4年度	265
令和5年度	195

脳卒中パス



4. がん相談支援センターの相談

- 1) がん相談の件数・・・2. 医療福祉相談 参照
- 2) セカンドオピニオン外来相談件数

当院へのセカンドオピニオン受診件数

	糖尿病・内分泌・代謝内科	消化器内科	呼吸器内科・腫瘍内科	循環器内科	腎臓内科	血液内科	脳神経内科	リウマチ・膠原病科	小児科	神経精神科	呼吸器外科・乳腺外科	心臓血管外科	消化器・内分泌・小児外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	泌尿器科	産科・婦人科	眼科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	皮膚科	歯科口腔外科	放射線科	リハビリテーション科	麻酔科	緩和ケア	計
令和3年度	0	8	3	0	0	0	1	0	0	1	4	0	12	2	2	0	4	5	0	2	1	0	0	0	0	0	45
令和4年度	0	9	1	0	0	3	0	0	0	0	7	0	7	0	2	1	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	39
令和5年度	1	8	11	0	0	3	3	0	1	0	2	0	6	2	3	1	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	50

他院へのセカンドオピニオン受診件数

令和元年度	36
令和2年度	30
令和3年度	31
令和4年度	34
令和5年度	31

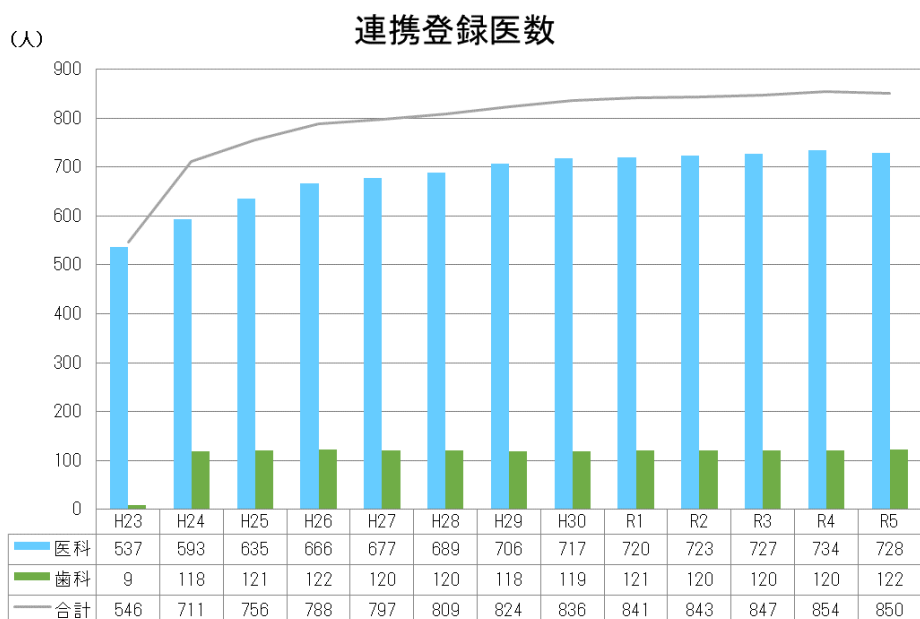
5. その他

1) 連携登録医数の推移（人）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
登録数													
医科	537	593	635	666	677	689	706	717	720	723	727	734	728
歯科	9	118	121	122	120	120	118	119	121	120	120	120	122
合計	546	711	756	788	797	809	824	836	841	843	847	854	850
新規登録	546	169	57	50	19	24	32	23	24	26	25	28	18

二次医療圏別登録医数（人）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
医療圏													
和歌山	318	412	431	456	461	469	471	479	476	490	495	504	500
那賀	62	72	72	74	77	77	80	82	88	85	85	87	87
橋本	20	36	41	41	41	41	43	46	47	47	47	47	47
有田	53	58	59	66	65	65	64	64	64	61	62	62	63
御坊	24	35	35	36	39	39	39	37	37	36	36	36	35
田辺	18	26	28	29	29	31	30	29	29	29	29	27	26
新宮	11	17	17	16	16	16	17	17	17	17	16	16	16
泉州	40	55	73	70	69	71	80	82	83	78	76	74	74
大阪市南部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
阪神北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1



2) 長期療養患者の就労支援

平成 28 年 6 月より「長期療養者等就職支援モデル事業(厚生労働省モデル事業)」として、就業支援ナビゲーター(ハローワークより派遣)による出張相談が開始された。

日時：月 2 回 第 1 火曜日(予約制) 第 3 火曜日 13:30~16:00

場所：当院 医事課面談室

利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	5
R4	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	5
R5	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3	6

3) 重症患者初期支援

重篤な患者及びその家族等に対する支援体制として、患者の治療に直接関わらない専任の担当者(メディエーター)を配置し活動している。令和 5 年度には入院時重症患者対応メディエーター養成研修修了者が 2 名となった。救急科や関係部署との多職種カンファレンスを毎月実施している。

メディエーターの介入件数

令和 4 年度	12
令和 5 年度	60

4) 紹介率と逆紹介率

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
紹介率(%)	83.4	83.4	83.6	84.3	84.6	85.0	82.4	87.0
逆紹介率(%)	69.2	75.8	72.3	76	81.3	78.8	75.6	51.5‰

* R5 年度からは逆紹介割合(‰)で表示

5) 返書率（受診報告書作成率）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
返書率(%)	99	99	99	98	99	98	97	97	97	98

6) 子ども虐待防止に関すること

当院における児童虐待防止への取り組みは、平成 22 年 9 月に「子ども虐待防止検討会」が設置された。その後下部組織として SCAN(こども虐待に対する安全対策チーム)が設置された。平成 29 年に再度組織の見直しを行い、SCAN については患者支援センターと小児成育医療支援室が中心となり進めることとなった。

SCAN は第 1・3 木曜日を定例会とし、必要に応じて「緊急 SCAN 会議」を招集し、また親会「子ども虐待防止検討会」への報告等をおこなっている。

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター、日赤和歌山医療センター、当院で 3 者会議を年に 2 回開催している。

【病床管理部門】

令和 5 年度は 12 階東病棟の工事に伴い 50 床が休床となり、各診療科の病床数が減少した。

1. 病床利用率

1) 令和 5 年度月別病床利用率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体(800床)	75.0	72.6	77.0	76.7	76.9	74.9	74.6	73.2	73.8	73.9	77.8	77.4
全体(750床)	80.0	77.5	82.1	81.8	82.1	79.9	79.5	78.0	78.7	78.9	83.0	82.6

2) 年度別病床利用率の推移 (%)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全体(800床)	80.8	79.5	79.4	79.8	82.2	84.0	81.8	82.5	79.2	78.2	78.2	75.3

2. 平均在院日数

1) 令和 5 年度月別平均在院日数 (日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均在院日数	12.5	12.4	12.2	12.6	12.3	12.3	11.8	12.1	12.4	12.6	12.6	12.6

2) 年度別平均在院日数の推移 (日)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
平均在院日数	14.8	14.5	14.1	14.1	14.5	14.4	13.7	13.1	12.7	12.2	12.9	12.4

3. 入退院の状況

1) 月別新入院数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R4	1,522	1,511	1,554	1,354	1,472	1,424	1,497	1,537	1,441	1,416	1,367	1,531
R5	1,431	1,469	1,546	1,505	1,544	1,434	1,595	1,442	1,376	1,549	1,450	1,476

2) 月別退院数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R4	1,586	1,389	1,596	1,454	1,374	1,439	1,498	1,497	1,650	1,211	1,361	1,613
R5	1,457	1,438	1,492	1,519	1,549	1,491	1,527	1,452	1,576	1,354	1,409	1,574

4. 重症度、医療・看護必要度評価

1) 重症度、医療・看護必要度（一般病棟）（%）

令和5年度は30%を下回ることにはなかった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当該患者割合	31.9	32.5	33.3	31.8	33.3	34.3	31.9	32.3	32.9	30.9	30.4	31.7

【入院センター】

対応している診療科は令和3年度から変わらず24診療科である。今年度の年間延べ対応患者数は9,467人（昨年度比+662人）、月平均は789人（昨年度比+35人）であった。

1. 窓口対応の概要

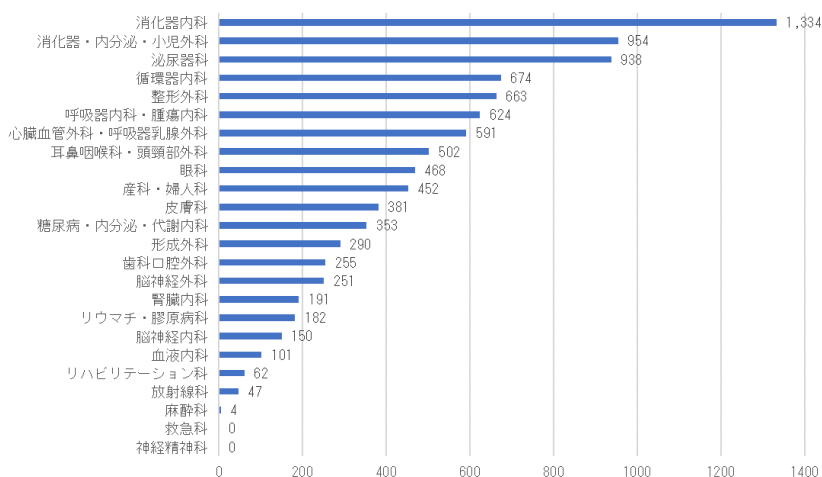
1) 基本情報聴取数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
令和5年度	774	771	884	757	794	707	828	780	766	768	733	743	9,305	775

2) 診療科別

診療科別対応数では、昨年度に引き続き消化器内科、消化器・内分泌・小児外科が多く、次いで泌尿器科の順に多かった。

診療科別対応件数（人）



3) 対応内容

入院窓口では基本情報の収集を行い、安心して入院生活が送れるよう、生活の場や各種サービス利用について入院前から検討し、早期介入に向けて身体的・心理的問題を把握できるように努めている。

昨年度から、基本情報の聴取、認知機能評価に加え、安全・安心な入院療養や退院支援につなげることを目的に入院前リスク評価を開始している。基本情報を収集した患者（9,305人）のうち、何らかのリスクがある患者（8,569人）は92%であった。

窓口対応 ※複数該当あり

傾聴・語りの促進・支持的な対応	618
助言・提案	222
患者相談窓口の案内	38
地域連携部門連携	9
院内連携(病棟)	39
院内連携(外来)	48
情報提供依頼書説明	128
DST報告	190
その他	12
合計	1,304

退院支援の必要性の有無(人)

必要	1,188	1,464
追加情報必要	276	
なし	7,841	
合計	9,305	

リスク評価 ※複数該当あり (件) (割合)

転倒転落リスク	2,328	24.6%
褥瘡危険因子	2,091	22.1%
耐糖能異常	2,053	21.7%
喫煙・呼吸機能障害	5,301	56.0%
歯科疾患・口腔内異常	4,209	44.5%
認知機能評価	352	3.7%
せん妄リスク因子	5,659	59.8%
静脈血栓塞栓症リスク	5,978	63.1%
精神的評価	361	3.8%
がんに伴う疼痛	239	2.5%
合計	28,571	

退院困難な要因 *複数該当あり

悪性腫瘍・認知症	752
要介護申請が未	75
虐待の疑いがある	2
生活困窮者	2
ADL低下の予測	428
排泄介助要	0
必要な介護が受けられない	105
退院後医療処置がある	278
入退院を繰り返す	287
長期的な低栄養状態の見込み	2
児童から介護を受けている	0
合計	1,931

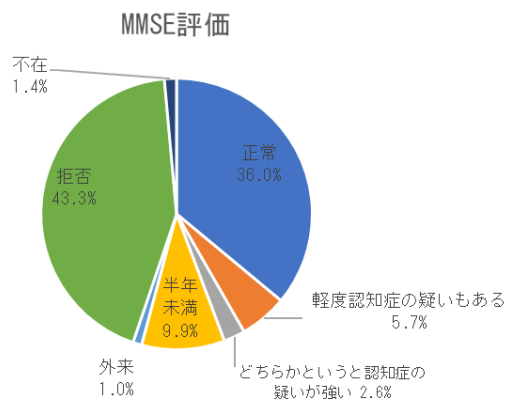
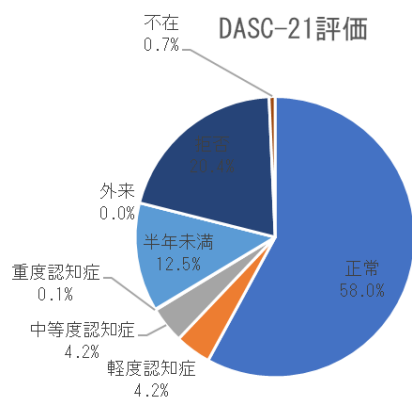
2. 認知機能評価

65歳以上の患者に任意で認知機能評価を行っている。今年度窓口対応をした9,647人のうち、65歳以上は5,979人であった。認知機能評価実施率は、DASC-21が76%、MMSEが50%であった。

評価結果は、安全な入院環境の整備や早期からのDSTチームの介入に活用している。

		DASC-21	MMSE
対象者		5,122	5,194
実施		3,886 (76%)	2,578 (50%)
未実施	拒否	1,192 (23%)	2,524 (48%)
	本人不在	41 (1%)	89 (2%)

※65歳以上の患者のうち、6ヵ月以内に認知機能評価を受けた人は実施せず



【患者相談窓口部門】

患者相談窓口では、患者が病気になって生じる様々な問題や心配事について相談できるよう、常に看護師、社会福祉士等の専門職が対応に当たっている。①医療費 ②療養生活・転院先の相談 ③利用できる社会保障制度 ④セカンドオピニオン ⑤就労 ⑥医療の安全 ⑦先進医療・治験・臨床研究 ⑧学生の臨床実習についてなどの相談に応じ、適切な部署へつなぎ、切れ目のないワンストップサービスを心がけている。

以下は1年間の患者相談窓口での対応実績である（件数は、【地域連携部門】2. 医療福祉相談に含まれるが、窓口独自の件数として示す）。

1. 患者相談窓口での対応実績

1) 月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	112	100	122	131	109	134	151	137	123	111	139	162	1,531
R5	121	148	160	138	157	113	124	132	129	125	125	113	1,585

2) 相談内容(重複あり)

相談内容	件数	相談内容	件数
医療費・生活費・社会保障制度	723	療養上の相談(症状・副作用・後遺症への対応)	17
受診方法・入院	134	療養上の相談(食事・服薬・入浴・運動・外出など)	17
在宅医療	132	社会生活(仕事・就労・学業)	16
医療機関の紹介	96	医療相談(その他の疾患の治療・検査)	16
他病院の予約	72	療養上の相談(不安・精神的苦痛)	16
介護・看護・教育	66	療養上の相談(生きがい・価値観)	14
コミュニケーション(医療者の関係)	64	セカンドオピニオン(一般)	14
転院支援	45	療養上の相談(ホスピス・緩和ケア)	7
地域との連絡・調整・問い合わせ	44	セカンドオピニオン(受入)	7
セカンドオピニオン(他へ紹介)	41	患者会・家族会(ピア情報)	6
退院支援	30	コミュニケーション(患者-家族間の関係)	4
医療相談(がんの治療)	29	医療相談(臨床試験・先進医療)	1
医療相談(症状・副作用・後遺症)	17	その他	1

【予約センター】

予約センターでは、市中のクリニックからの紹介による受診予約と予約の変更を、電話および FAX で受け付けている。令和5年度の新患件数は 14,692 件、再来件数 9,289 件、変更件数 11,774 件であった。

【その他】

1. 開催研修

1) 地域医療連携わかやまネットワーク実務者の会(日赤和歌山との共催 当院主催)

日時：令和5年7月7日(金) 17:00~19:00

場所：Web (オンライン会議システム ZOOM)

内容：「病院時代のわたしに聞かせたい5つのこと」

たにやまクリニック 医療ソーシャルワーカー 関本 查智子 氏

2) 地域医療連携わかやまネットワーク実務者の会(日赤和歌山との共催 日赤和歌山主催)

日時：令和5年12月22日(金) 17:00~18:30

場所：Web (オンライン会議システム Webex)

内容：「がんとの共生に関する政策的動向

ー治療と仕事の両立支援、アピアランスケアを中心にー」

厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 相談支援専門官 戸石 輝 氏

3) 医療連携交流会

日時：令和5年10月7日(土) 16:00~19:00

場所：アバローム紀の国2階 鳳凰の間

内容：1部講演会

「和医大の近況」 病院長 中尾 直之

「新任教授による現状報告」

消化器・内分泌・小児外科 教授 川井 学

臨床感染制御学講座 教授 小泉 祐介

「最近のトピックス」

～頭頸部がんに対する光免疫療法～

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 保富 宗城

～紀北分院の活性化事業について～

紀北分院長 廣西 昌也

「青洲リンク・NOBORI～概要説明～」

医療情報部 准教授 西川 彰則

2部交流会

COVID-19 感染症拡大防止のため中止していた交流会を本年度・再開した

4) がん患者・家族・県民のための公開講座(和歌山県立図書館との共催)

日時：令和5年12月2日(土) 13:00~15:00

場所：和歌山県立図書館 メディアアートホール

内容：「氣い楽にがんを生きる～足し算命～」

JA 愛知厚生連 海南病院 緩和ケア病棟医 大橋 洋平 先生

5) がんサロンネットワーク研修(ピアサポーター研修)

日時：令和5年12月15日(金) 15:30~16:30

場所：Web(オンライン会議システム ZOOM)

内容：アピアランス研修

「ピアサポーターが知って役立つこと」

NPO 法人つながりひろば理事長 笹田 友恵 氏

6) 和歌山脳卒中地域連携パス情報交換会…1回目

日時：令和5年7月20日(木) 17:30~18:00

場所：Web(オンライン会議システム ZOOM)

内容：「脳卒中地域連携パスの現状について」

日本赤十字社和歌山医療センター 脳神経外科部 前島 一偉 先生
意見交換会 「和歌山県脳卒中地域連携パス(Ver. 1.7)について」

7) 和歌山脳卒中地域連携パス情報交換会…2回目

日時：令和5年10月14日(土) 16:00~17:30

場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ4階「ホール」

内容：「中江病院での取り組み」

中江病院 リハビリテーションセンター 作業療法士 江草 一輝 氏
「たかが頭痛と言う勿れ 抗 CGRP 抗体製剤時代の頭痛診療頭痛診療」
橋本市民病院 副院長 垣下 浩二 先生

8) 和歌山脳卒中地域連携パス情報交換会…3回目

日時：令和6年3月15日(金) 17:00~17:30

場所：Web(オンライン会議システム ZOOM)

内容：脳卒中地域連携パスを使った2事例の検討

メイン発表 日本赤十字社和歌山医療センター

脳神経科部 専攻医 大江 直 先生

事例1 日本赤十字社和歌山医療センター

リハビリテーション科部 作業療法士 久保 智也 氏

和歌山生協病院 理学療法士 林 将斗 氏

事例2 日本赤十字社和歌山医療センター

リハビリテーション科部 言語聴覚士 中下 裕香乃 氏

角谷リハビリテーション病院 理学療法士 夏目 侑季 氏

意見交換会 「和歌山県脳卒中地域連携パス(Ver. 1.7)について」

9) がん相談員研修 1

日時：令和5年11月11日（土）13:00～17:00

場所：Web（オンライン会議システム ZOOM）

テーマ：情報支援研修地域展開版

内容：「情報から始まるがん情報支援」

長野市民病院 横川 史穂子 氏

グループワーク

10) がん相談員研修 2

日時：令和6年1月27日（土）13:00～16:30

場所：紀南病院 3階 講堂

テーマ：「相談員のセルフケアに目を向けて—安定した相談対応をめざして—」

内容：「自分のトリセツ知っていますか?」

公認心理師・臨床心理士 篠原 優衣奈

グループワーク

2. その他活動

1) がん患者団体の支援

がん患者サロン「わ」の運営支援

日時：毎月第3金曜日 14:00～15:00

場所：和歌山県立医科大学附属病院 2階連携登録医室

* コロナ感染症拡大のため中止していたが、2023年6月より再開した

2) ふれあい人権フェスタ（がん相談支援センターの出展） * 2023年度は開催されず

3) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 わかやま 出展

日時：令和5年5月27日（土）12:00～18:00

場所：和歌山城公園 砂の丸広場

4) 図書館 DE 健康サロン * 開催されず

5) 講義・実習受け入れ

【実習】

和歌山県立医科大学保健看護学部

在宅看護実習地域連携部門 4年生・3年生 延べ9日間 34名

和歌山県立高等看護学院 看護学科

生活再構築支援実習 3年生 延べ3日間 11名

【講義】

和歌山県立高等看護学院看護学科 2年生 2023年12月5日（火）「在宅看護活動論Ⅱ」

和歌山県立医科大学保健看護学部 3年生 2023年4月28日（金）「病院における地域連携の実際」

6) 開催会議

(1) 令和5年度 第1回患者支援センター運営委員会

日時：令和5年5月31日（水）17:00～18:00

場所：中央棟4階 大会議室

内容：令和4年度の実績について

令和5年度患者支援センター組織図及び役割について

令和5年度患者支援センター年間目標について

その他

(2) 令和5年度 第1回病床管理委員会

日時：令和5年11月21日（火）17:30～18:15

場所：管理棟2階 C会議室

内容：大規模改修の概要及び今後の病床運用について

病床編成について

病床管理に関する取扱いの一部改正について

病床管理担当医・看護師長会議の開催について

今後の病床数見直しスケジュールについて

その他

(3) 令和5年度 第1回病床管理担当医・看護師長会議

日時：令和5年4月24日（月）17:30～18:30

場所：管理棟2階 特別会議室

内容：令和5年4月1日からの病床編成について

各診療科の病床数見直しルール及びスケジュールについて

病床管理に関する取り扱いについて

DPC入院期間について

ゴールデンウィークの入院患者における転科および外泊等について

その他

(4) 令和5年度 第2回病床管理担当医・看護師長会議

日時：令和5年12月14日（木）17:30～18:15

場所：管理棟2階 特別会議室

内容：大規模改修の概要及び今後の病床運用について

病床編成について

病床管理に関する取扱いの一部改正について

年末年始の入院患者における転科及び外泊について

その他